技術マーケティング研修 第六ステップ リターン／投資提案

株式会社 じょうすい 如 水
技術企業の高収益化

2021年

中村大介

**リターンが分からなければ、
投資が適正か評価できないから**

リターン > 投資

市場規模は？
理由を書き、推定します。
シェアは？ 自社売上は？
理由を書き、推定します。
利益率は？ 自社利益は？
理由を書き、推定します。

CONFIDENTIAL

フェルミ推定

フェルミ推定とは、実際に調査することが難しいような捉えどころのない量を、いくつかの手掛かりを元に論理的に推論し、短時間で概算することである。例えば「東京都内にあるマンホールの総数はいくらか?」「地球上に蟻は何匹いるか?」など、一見見当もつかないような量に関して推定する事、またはこの種の問題を指す。

出典：Wikipedia

CONFIDENTIAL

フェルミ推定で特に知られているものは、「アメリカのシカゴには何人のピアノの調律師がいるか？」を推定するものである。これはフェルミ自身がシカゴ大学の学生に対して出題したとされている。

この問題に対して、例えば次のように概算できる。

まず以下のデータを仮定する。

シカゴの人口は300万人とする
シカゴでは、1世帯あたりの人数が平均3人程度とする
10世帯に1台の割合でピアノを保有している世帯があるとする
ピアノ1台の調律は平均して1年に1回行うとする
調律師が1日に調律するピアノの台数は3つとする
週休二日とし、調律師は年間に約250日働くとする

そして、これらの仮定を元に次のように推論する。

シカゴの世帯数は、 $(300万/3) = 100万$ 世帯程度
シカゴでのピアノの総数は、 $(100万/10) = 10万台$ 程度
ピアノの調律は、年間に10万件程度行われる
それに対し、(1人の)ピアノの調律師は1年間に $250 \times 3 = 750$ 台程度を調律する
よって調律師の人数は $10万/750 = 130$ 人程度と推定される

CONFIDENTIAL

委託先例

富士経済
富士キメラ
矢野経済
など

購入・委託費用

10万円～数百万円

調査精度

低い～高い

備考

テーマがある程度進行した段階で使用するのが良い。

矢野経済研究所

検索したいキーワードを入力してください

[HOME](#) [事業内容](#) [販売商品](#) [産業別情報](#) [ニュース・トピックス](#) [会社情報](#) [YDB](#)

受託調査

矢野経済研究所の受託調査サービスの強みは、各産業・業界に精通した、専門リサーチャーの強力な情報ネットワークです。

例) EV電池の電極用添加物Xの市場規模は？

手順

①元となる市場規模を調査

例 EV市場規模、EV電池の市場規模

②電極の占める割合を推定

例 電極メーカーの売上／電池メーカーの売上

③添加剤の割合の推定

例 添加剤金額／電極金額

CONFIDENTIAL

例) CFRPの自動車用構造材の市場は？ (CFRPが使用されていない時代に)

手順

① 自動車の市場を調査

例 ○円/台、年間△台、市場規模□円

② 自動車の構造材の市場を調査

例 構造材は自動車のX%と推定

③ CFRP適用領域の調査

例 上記X%のうちY%がCFRP適用領域と推定

CONFID

リーダー

技術的に先行しており、投入資源量が多くできる会社

対象：マス

戦略：最初は差異化 → コストリーダーシップ

例) トヨタが燃費改善のために、ハイブリッドの技術開発を行った

市場シェア：高い、利益率：中くらい

チャレンジャー

リーダーに技術的に先行され、投入資源量は少ない。

対象：マス

戦略：差異化（マス層に独自の価値を訴求するための技術開発）

例) 日産がEVの開発を行った

市場シェア：中くらい、利益率：低い

ニッチャー

リーダーに技術的に先行され、投入資源量はさらに少ない。

対象：市場のニッチ

戦略：集中戦略（特定の層に集中訴求できる技術開発）

例) 車のデザイン部分に集中投資し、
ハイブリッド技術は買う（マツダ）

市場シェア：低い、利益率：高い

リーダー

- ・これから市場が立ち上がろうとしており、競合と比較して技術的に先行し、価格も低価格化できる場合にはリーダーの地位が狙える。
  - ・市場シェアは初期は100%に近く、事業の成熟とともに徐々に低下して30%くらいになる。
- 例) 自動車市場でのトヨタ

チャレンジャー

- ・競合が技術開発・市場開発で先行しているため、自社は差異化した特徴を持って参入する場合、チャレンジャーとしての地位になる。
  - ・価格優位性がない場合が多いため、市場シェアはそれほど大きくならないことが多い。
  - ・市場シェアは、参入後に数%となり、価格競争力をつけると共に徐々に向上していく。
- 例) 自動車市場でのホンダ、日産

ニッチャー

- ・すでに立ち上がっている市場に、競合にない顧客価値で後発参入するケース。
  - ・競合にない顧客価値を、顧客価値と感ずる顧客が限定的なケース。
  - ・市場シェアは数%。
- 例) 自動車市場にスバルらしい車、マツダらしい車

計画策定時の市場シェアの推移 (参考)

	○年後 (例 5 年後)	○年後 (例 10 年後)
リーダー	50~100%	20~50%
チャレンジャー	5~20%	10~25%
ニッチャー	全市場の数% ニッチ市場の100%	全市場の数% ニッチ市場の100%

CONFIDENTIAL

1. 市場把握度（規模、成長性、事業基盤）

1-1. 市場規模、成長性が調査されている

1-2. 需要の性質

既存需要又は代替需要であり、需要を開拓（市場を創造）する必要がない 高い評価

「無消費」に対する商品であり、市場を開拓する必要がある 低い評価

1-3. 営業基盤

市場を開拓する営業基盤をすでに保有している 高い評価

市場を開拓する営業基盤を保有していない 低い評価

2. 戦略—資源適合度（競争優位になる戦略）

2-1. 競合調査がされている

2-2. 戦略の明確性

差異化戦略の場合

競合の顧客価値と異なる軸が明示されている（A）

販売価格・生産コストが市場要求に見合う（B）

コストリーダーシップの場合

競合の販売価格を2割以上上下回る（C）

競合の性能と同等品（D）

2-3. 上記A B C Dに適した技術を開発する計画が立案されている

2-4. 資源適合性

上記開発計画が社内の既存資源で済む内容である 高い評価

社外資源を取り入れる必要がある やや低い評価

2-5. 現在強い技術（コア技術）を利用する内容である

2-6. 知財がとれる

CONFIDENTIAL

どのような知財が取れるかで利益率は推定できる。
 以下はセットメーカーをモチーフとした場合。
 業種によって必要な知財は異なるので、自社に合ったものを設定すること。

粗利率	50%以上	自社実施品 + 競合が実施しそうな技術	自社実施品 + 競合が実施しそうな技術 + 調達品 + ユーザー品 + 代替技術
	30%以上	自社実施品のみ	自社実施品 + 競合が実施しそうな技術
	30%未満	知財なし	自社実施品のみ
		~10 ~100	~1,000 ~10,000 ~100,000
		市場規模 (億円)	

CONFIDENTIAL

上記のようなマッピングと、過去の商品の利益率（調査必要）を用いて、合理的だと思う利益率を推定する。

CONFIDENTIAL

投資金額の推定

対応する事業名	単位 千円											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
F軸実現技術 1	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
技術名 2	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
技術名 3	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
ユーザー評価系 1	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
ユーザー評価系 2	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥

記入単位

想定する事業ごとに 1 シート書きます。

技術項目

競争優位にするためにはしなければならない開発テーマ項目に対して、いつ、どのような規模で投資をしていくかを記載します。開発テーマ項目はできるだけ細分化しなければなりません。順番や金額の妥当性については問われますので、論理付をしてください。

CONFIDENTIAL

投資判断は、
研究開発費の○倍※以上の営業利益を
回収できるものに限る。
※例えば、5倍、10倍
オススメは10倍。

CONFIDENTIAL

倍数は、投資に対するリターンの割合。
上のような図で投資判断できれば、会社としては理想的。
テーマX、テーマYを比較して優先順位を判断することもある。

投資効率の推定と最終チェック

市場規模は？
理由を書き、推定します。
シェアは？ 自社売上は？
理由を書き、推定します。
利益率は？ 自社利益は？
理由を書き、推定します。

CONFIDENTIAL

対応する事業名	単位 千円											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
F軸実現技術 1	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
技術名 2	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
技術名 3	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
ユーザー評価系 1	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
ユーザー評価系 2	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥

記入単位

想定する事業ごとに 1 シート書きます。

技術項目

競争優位にするためにはしなければならない開発テーマ項目に対して、いつ、どのような規模で投資をしていくかを記載します。開発テーマ項目はできるだけ細分化しなければなりません。順番や金額の妥当性については問われますので、論理付をしてください。

CONFIDENTIAL

対応する事業名	単位 千円											合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
年目	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
事業の売上	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
利益	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥ X
F軸実現技術 1	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
技術名 2	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
技術名 3	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
ユーザー評価系 1	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
ユーザー評価系 2	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
合計投資額	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥ Y

注意事項

※利益は営業利益で計算すること。社内人件費は入れること。
 ※期間は自由に設定が可能。回収できる時間軸を考慮すること。

$$Z = X/Y$$

投資倍率 =

Z 倍

CONFIDENTIAL

構成要件	あなたの答え	該当ページ
①競争優位性があるか？（最後に答える）	なぜそう言える？	
②F軸はあるのか？それは大きいのか？ （顧客から見た価値の相違点があるか？）	なぜそう言える？	
③提案型ビジネスになっているのか？ 顧客の先生になれるか？	なぜそう言える？	
④↑対応するユーザー評価系があるか？	なぜそう言える？	
⑤↑ユーザー評価系は競合よりも優れているか？	なぜそう言える？	
⑥継続して情報の非対称性が作れる構造か？	なぜそう言える？	
⑦②のF軸は競合が容易に追いつけないか？それはなぜか？	なぜそう言える？	
⑧知財形成が可能か？その知財はどの程度排他的なのか？競合の参入を実質的に防げるのか？	なぜそう言える？	
⑨調達構造上、競合よりも安くできる仕組みになっているか？	なぜそう言える？	
⑩見込み利益が投資を大きく上回るか？	なぜそう言える？	